

EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌に対する初回治療 Osimertinib の多施設実態調査

■ 研究の対象

2018年8月1日～2019年12月31日に進行・再発非小細胞肺癌に対し Osimertinib を初回治療として投与開始した方

■ 研究目的・方法

現在、EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌に対する初回治療としては、EGFR-TKI が標準治療として位置付けられていますが、国際的な臨床研究において Osimertinib が勝る結果が発表され、より確たる位置を築きつつあります。しかしながら、日本人に限った解析では、無増悪生存期間については Osimertinib の優位性は変わらないものの、全生存期間において従来の標準治療を上回る結果には至らず、日本と他国との結果の相違に関しては、後治療の影響が示唆されるれいですが、検討すべき課題となっています。

また、日本における初回治療 Osimertinib の投与実態や治療成績、生存予後に関する因子についての実臨床のまとまったデータは乏しく、以上より、多施設観察研究を行う意義はあると考え、今回の研究を行います

■ 研究実施期間

2020年5月18日～2025年3月31日

■ 研究に使用する情報

電子カルテに記載のある診療記録：性別、年齢、身長・体重、病期、組織型、EGFR 遺伝子変異の種類といった患者さんの背景や治療内容等

■ 研究実施体制

この研究は、熊本大学病院 呼吸器内科（研究代表者：坂上拓郎）が代表となり、複数の医療機関が参加する共同研究として実施されます。当院は、共同研究機関として参加すると共に研究事務局の役割も担っています。

■ お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画を及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先	済生会熊本病院 呼吸器内科 主任医員 坂田能彦（研究責任者） 住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)
-----	---

以上